

楽器 〈マトラカ〉

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭り和生活

A0219

クスコ/ペルー

参照資料

図録『ラテンアメリカの音楽と楽器』
p.101、p.102

フィールドアルバム
「マトラカ演奏」

「季刊民族学」ファイル
～アンデス楽器の旅

演奏方法：柄をもってぐるぐるまわす。



MATRACA

ペルーやボリビアのはじく楽器の一つ。柄をもってぐるぐるまわすと。ガラガラと非常に大きな音をだす。カーニバルには欠かせない楽器。柄の先には歯車がしこんであり、これが木片や金属片をはじいて音をだしている。

關先生からのひとこと

マトラカは、キリスト教の重要な祭りであるカーニバルでよく使われます。最近ではビデオカメラやコンピューターをかたどったものもつくられています。スペインから伝わってきた楽器で、もともとは教会で人を集めるときに使っていたようで、大きさもずっと大きかったようです。